

# 青少年活動センターのページ

## 第23回大会ライブキッズ 右京ふれあい文化会館で初開催！！

第23回大会を、3月16日(土)・17日(日)に初めて京都市右京ふれあい文化会館(京都会館休館中のため)で開催しました。大会には各部門応募総数約60組の中からDANCE部門24組とMUSIC部門11組計約170人が出演者として選ばれました。当日は、ストリート、ロック、ジャズ、ヒップホップ等さまざまなジャンルのダンサーが勢いのあるダンスで観客を魅了、ポップス、パンク、和風ロック、弾き語り等の個性溢れるミュージシャンも自分たちで作った曲を力強く披露しました。2日間で延べ約1,400人が来場し、何度か入場制限を行うほど賑わいました。



会館ロビーではスタッフ企画ブースや、当協会・センター紹介ブース、右京保健センターブースを出展しました。

次回の第24回大会ライブキッズは、平成26年3月15日(土)・16日(日)に同じ右京ふれあい文化会館で開催を予定しています。

(中京青少年活動センター ユースワーカー 國府宙世)

### 【ダンス部門 受賞チーム】

| 賞          | チーム名          | 部門  |
|------------|---------------|-----|
| 中高生部門グランプリ | DOUBLE ?      | 中高生 |
| 一般部門グランプリ  | SOUL LIMIT    | 一般  |
| 審査員特別賞     | Laugh ☆ Bloom | 中高生 |
| オーディエンス賞   | DOUBLE ?      | 中高生 |

### 【ミュージック部門 受賞バンド】

| 賞          | バンド名      | 部門  |
|------------|-----------|-----|
| 中高生部門グランプリ | fu-kore   | 中高生 |
| 一般部門グランプリ  | シンガロンパレード | 一般  |
| 審査員特別賞     | WEED      | 中高生 |
| オーディエンス賞   | シンガロンパレード | 一般  |



京都市右京ふれあい文化会館

## 「野菜を育てて、働くことに近づこう」 第2クール実施！

京都若者サポートステーションと連携した就労体験プログラム「野菜づくりから仕事に近づく～働きながら、働くことを考える13週間～」が、5月7日(火)からスタートしました。

この事業は、週3回の農作業(左京区岩倉の農場/約150坪での野菜づくり)と週1回の研修(コミュニケーションについて考えるグループワークと、野菜の販売計画づくり)で構成しています。草刈りに始まって、種まきから育苗、水やり、収穫、販売までの一連の仕事をすべて体験し、「自らの強みに気づく」「規則正しい生活リズムを身につける」「チャレンジ精神を養う」ことをねらいとしています。

昨秋の第1クール(昨年10月～12月)では冬野菜を育てましたが、今回第2クール(5月～8月)ではキュウリ、トマト、カボチャなど11種類の夏野菜に挑戦しています。

参加者は、22歳から39歳までの男女4人。少人数なので農作業はハードですが、地域若者サポーターと一緒に育てています。

最初は、自分のしている作業に実感が持てなかった参加者も、まいた種が発芽し、ぐんぐん育てて花を咲かせる様子を見て、達成感や充実感を味わっています。ちょうどこの冊子が発行される頃には、立派なおいしい野菜が収穫でき、参加者が就労に向けた一歩を踏み出していることを願っています。

(北青少年活動センター チーフユースワーカー 大熊晋)



## 全体研修会 ポジティブな働き方を考える

6月12日(水)に東山区の「きよみず」で行った京都市ユースサービス協会の職員全体研修会は60人を超える職員が出席しました。今回のテーマは「ポジティブに仕事をする働き方を考える」。私たちの組織が果たすべき役割は多岐にわたり、複雑化しています。「組織」がより活性化し一丸となる前提として「個人」が一層前向きな仕事に取り組んでいくことが必要と、この主題が設定されました。

事務局長から組織の現状や問題提起がされた後、経歴や日常生活と仕事のバランスも異なる職員が、全体の場でそれぞれの考えを語り合い、理事からもコメントをいただきました。仕事に積極的、ときに青少年と楽しく向き合っていくために、一人ひとりが、組織が、何をすべきか。今少しずつ新しい風が吹こうとしています。

(南青少年活動センター チーフユースワーカー 川崎崇)

